

鹿児島市は、平成28年1月29日にWHO（世界保健機関）が推奨するセーフコミュニティの国際認証を取得しました。5年が過ぎ、令和2年はその国際認証再取得を目指しました。我が星峯東もその一翼を担つて「高齢者の安全・交通安全分野」でがんばりました。校区社協便りの紙面を借りて、当日の様子を紹介します。

高齢者の安全、交通安全を目指し 「転倒予防教室・交通安全教室」を開催



星峯東校区コミュニティ協議会 福祉安全部長 上原 逸男

皆様こんにちは、福祉安全部の上原でございます。かねてのご協力厚く御礼を申し上げます。今年は、恒例の介護講習会はコロナにより残念ながら断念しました。社会が複雑になる中で高齢者を始め各世代で課題は多いように思います。お互いが挨拶を交わす中で、お困りの様子の方には関係者が協力し、子供から高齢者まで、みんなが明るく暮らす地域になればと願っております。

さて令和2年11月17日（火）、星峯東校区コミュニティ協議会は、鹿児島市と共にふれあい館において、各町内会などから約90名の方々が参加して頂き『転倒予防・交通安全教室』を開催しました。

世界基準の安心安全都市「セーフコミュニティかごしま」を掲げ、2回目の国際認証を目指す鹿児島市は、かねての星峯東校区の『高齢者の安全』、『交通安全』活動を高く評価してくださいました。そして星峯東校区は鹿児島市での代表校区の一つとして、この催しを開催しました。県交通安全協会、JAFなど関係者ご支援を得ての催しを、認証機構等関係者は、体育館内外の会場の活き活きとした活動の様子等、熱心に視察されました。

高齢者は運動不足などから筋肉が衰え、転倒しやすく、骨折、入院、寝たきり、認知力の低下など思われる方向に進行します。保健師さんの指導で、転倒しない日頃の運動習慣を目的にした高齢者向け「らくらく体操」を行い、元気に楽しく汗を掻き、みなさんの笑顔が会場いっぱいあふれました。

この体操は今、2町内会が取組んでいます。他でも気軽に身近に広められると願っています。

体操後は交通安全教室において、模擬横断歩道を用いた体験学習、酩酊ゴーグルを使った飲酒時の身体・歩行能力体験、シートベルト体験装置による衝撃時の効果体験をしました。横断では確認がいかに疎かになっているかに気付き、飲酒疑似体験では判断の錯誤、運動神経の低下に驚き飲酒運転の怖さを、シートベルト未着用の時速5キロ衝突体験では大きな衝撃を感じ、シートベルトが如何に大事か再認識しました。終了後のアンケートでは、「参加して良かった、日頃の運動、交通安全意識を見直し、自分を守りたい。」との感想がたくさん寄せられました。

会場には校区で作成した『夕方から夜間の外出は夜光反射材をつけましょう』の横断幕を掲げ、全員、夜光反射材のタスキを着用し、体温測定、マスク、消毒、距離、参加者リストなどコロナ感染防止策を十分にとり実施しました。大会は鹿児島市安心安全課、県交通安全協会、JAF、ふれあい館ほか沢山の皆様の協力で成功裏に終わりました。この様子は、セーフコミュニティの再認証審査において、海外の審査員もオンラインで同時視察され、高い評価をいただき、2021年国際認証に繋がりました。

笑顔あふれ、校区の縛も感じるフォーラムとなり、心より感謝申し上げます。



おやじの会の今年度の活動

今年度、なかなか、子どもたちと一緒に活動が出来ない中、星峯東小おやじの会は出来ることを模索してきました。

中央公園での夏休みの花火の打ち上げ、運動会の緑門作り、そして門松作りと鬼火たきのやぐら作り等の準備などなど色々なことに取り組みました。

来年度こそは、また子どもたちと一緒に楽しい活動が出来ることを祈っています。



星峯東小に立派な門松が出来ました

コロナ禍でさまざまな行事が中止となる中、久しぶりに校区行事できてうれしかったです。1月9日（土）午後から、コミュニティ協議会・おやじの会などの有志でやぐらを組み立てました。そして本番、六年生や年女・年男がやぐらに火をつけると瞬く間に燃え上がり、竹が破裂する音が鳴るたびに、子どもたちの歓声や悲鳴が小学校内に響きわたりました。ただ、このような状況であるため、餅焼きは中止になり子どもたちは残念そうでした。鬼火たきの火を見ながら、コロナの消滅と無病息災を願いました。おやじの会 北山 清悟



鬼火たき（星峯東小にて）



町内会活動紹介

今回は南町内会です！

よかよか体操で思うこと



も侮るなかれ！眠っている筋肉をやさしく目覚めさせ、効果が期待できます。身体も心もほっこりとなりつ公民館を後になります。

コロナ感染予防対策しながら、これからもよかよか体操が続けられる町内会であります。

南町内会 福祉委員 西前 敦子

いつもは静まりかえった町内会の公民館に、毎週月曜日の午後、いっとき風が吹き通ります。

「住み慣れた地域で元気に暮らし続けたい。」これは多くの人の願いです。

歩いて集える身近な場所で、運動を通し、体力の向上はもちろんのこと！健康長寿のまちづくり！

（よかよか体操に参加しましょう）声を掛け合います。住民同士の交流の機会に一役買っているのです。テレビのDVD見ながら、いすにすわっての簡単な体操とはいえど